

# 福岡共同

Fukuoka Communal Archives

# 公文書館だより

vol.07

平成27年10月  
October 2015



▲公文書館にはさまざまな人が訪れています

**TOPICS** / 第5回(平成26年度第2回)企画展  
「福岡県の災害の記録」……………2～3ページ

- 講演会「防災気象情報とその利用」……………4ページ
- お知らせ掲示板(展示、講座・講演会)……………5ページ
- 公文書館を見学しませんか? / 会議室・研修室を利用できます……………6ページ
- 活動報告 / 選別会議実施状況……………7ページ

## 第5回(平成26年度第2回)企画展 福岡県の災害の記録

平成27年2月17日(火)から3月29日(日)まで、第5回企画展「福岡県の災害の記録」を開催し、287名の来場者にご覧いただきました。

「災害の記録を振り返り、防災・減災の大切さについて、改めて考える機会となること」(開催要領)を目的とした本展示は、福岡県内で発生した災害のなかから、主に平成に入ってから以降の災害——平成3年の台風17・19号、平成17年の福岡県西方沖地震、平成24年の九州北部豪雨——に焦点を当て、ご紹介したものです。過去の災害の記録だけでなく、現在、各地方自治体で作成されている防災計画に関する所蔵文書や防災訓練の記録写真も展示しました。

展示資料点数は49点で、展示パネルは、福岡管区気象台から西方沖地震と九州北部豪雨についての説明パネル14枚をお借りし掲示しました。

### 【展示資料から見る災害の記録】

当館に所蔵されている特定歴史公文書と行政

刊行物の中から、先に記した近年の災害に関する記録を集めて展示しましたが、非現用文書が移管されてくるといふ当館の所蔵資料の特徴上、それらに関する公文書はまだ現用段階にあるものが多いため、平成3年台風については3点(うち1点借用)、平成17年西方沖地震については8点、平成24年九州北部豪雨については5点(うち3点借用)の資料を展示したのみとなりました。ここでは、奇しくも、発生から10年目を迎えた西方沖地震に関する展示資料の一部をご紹介します。

明治31年、糸島付近を震源とするマグニチュード6.0の地震が発生して以来、100年以上も大きな地震を経験することがなかった福岡県では、「地震の少ない地域」という雰囲気漂っていました。平成17年3月20日午前10時53分頃、福岡市の北西、玄界灘を震源とするマグニチュード7.0の地震が発生し、福岡市をはじめ九州北部に甚大な被害をもたらしました。

福岡県総務部消防防災安全課(現防災危機管理

局防災企画課)が事務局となり、現在の消防庁消防大学校消防研究センターの前身となる独立行政法人消防研究所理事長であった室崎益輝氏を委員長とする震災対応調査点検委員会が提出した「福岡県西方沖地震災害対応調査点検委員会報告書」(平成17年7月)によると、福岡県内における人的被害は、死者1名(福岡市博多区、ブロック塀倒壊によるもの)・重傷者81名・軽傷者992名の計1,074名で、生活の基盤となる住居・住宅の被害は、全壊138棟・半壊315棟・一部損壊8,832棟の計9,285棟に及びました。被害の多くは福岡市および隣接する前原市(現糸島市)に集中し、博多港を初めとする漁港、道路などの都市基盤や公共施設も大きな被害を受けました。特に震源に近い福岡市玄界島の島民(約700人)は全島避難を余儀なくされ、その後3年にわたる長い避難生活を強いられました。玄界島では多数の被災者が避難し、継続的な援助を必要とするため、福岡市全域に災害救助法が適用されました。

災害後の復旧復興の過程において、最も手厚い保護を受けるには激甚災害法の指定を受けることが最善の手段です。しかしながら、地震発生直後から、激甚災害指定は農業被害を基準としているため、西方沖地震のような大都市における被害や

水産業における被害への適用の難しさは懸念されていました。そうした経緯を示す資料のひとつとして、参議院災害対策特別委員会へ提出された「福岡県西方沖地震に係る災害復旧対策に関する緊急要望書(平成17年4月25日付)」「(展示資料簿冊名「九州地方知事会議4」福岡県作成 資料番号：1-1-001423)」があり、農業被害を基準とする激甚災害指定が西方沖地震にも適用されるよう記されています。

その他の資料は、県内市町村が福岡県へ提出した被害状況の報告書で、例えば、展示資料「平成17年度福岡県西方沖地震(H17・3・20)災害状況」(久山町田園都市課作成 資料番号：1-2-0007361)によれば、発生当時、各市町村は、半日に一度、県への被害状況報告(但し、人命に係わる被害は随時)を求められていたことがわかります。また、展示資料「平成17年度 県報告書」(杷木町健康福祉課(現朝倉市)作成 資料番号：1-2-0016348)や「ねんりんピック(県協議)(一)」「古賀市福祉課作成 資料番号：1-2-0009461)は、平成17年11月12～15日にかけて開催予定であったねんりんピックふくおか2005(第18回全国健康福祉祭ふくおか大会)競技予定会場における被害状況についての県への報告書で、本震のあった3月20日と、最も大きな余震のあった4月20日の被害状況がまとめられて

います。幸い、両市町ともに、予定会場に大きな被害は出ていないようですが、展示資料「関係団体の支援・連絡調整」(福岡県健康福祉部ねんりんびつく室作成 資料番号：1-1-0011842)には、先の展示資料を含む予定会場のある各市町村への被害状況照会をとりまとめた一覧が綴られています。

防災・減災に対する取り組みについては、県や各市町村に義務付けられている地域防災計画に関してとともに、開架閲覧室に係る資料コーナーを設け、手に取ってご覧いただける場所を作りました。また、昭和40年から開始された福岡県総合防災訓練については、その実施状況の一覧を示すとともに福岡県が所有する訓練風景写真を展示し、市町村からの住民への災害情報の伝達については、新たな情報メディアであるFacebookやTwitterによる市町村の取り組みをご紹介します。

最後となりましたが、ご覧くださった皆さま、開催にあたって資料借用等のご協力を賜った福岡管区气象台、福岡県、うきは市、みやま市をはじめとする関係機関に、厚く御礼申し上げます。

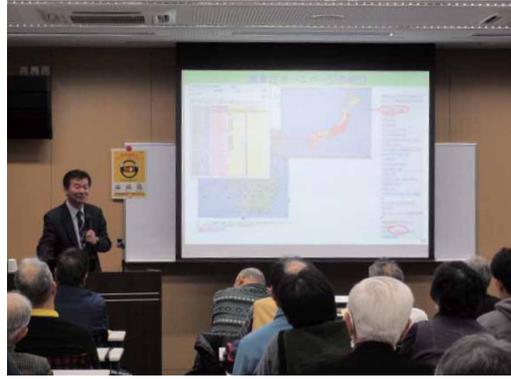


▲過去の記録は将来へと生かすことができます



# 公開講演会を開催しました

## 防災気象情報とその利用



2月21日、第5回（平成26年度第2回）企画展のテーマ「福岡県の災害の記録」と関連した講演会を開催しました。

福岡管区気象台から気象防災情報調整官の大場仁治（おおばにんじ）氏を講師に招き、気象庁が発表する防災気象情報の種類や予測精度、その利用方法、自然災害から身を守る方法などについて、画像や映像を用いて説明していただきました。

自然災害から身を守る方法については、大雨に備えるためのポイント解説がなされました。参

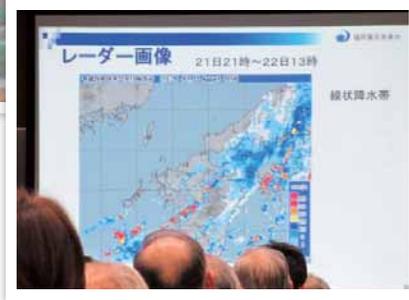
加された皆様にとっても、平成21年と24年の九州北部豪雨を振り返りながら、防災・減災の大切さについて、あらためて考える機会となりました。

参加者の方々からは、「よく理解できた」「参考になった」との感想が多く、また、「天気予報の基礎的な用語が理解できてよかった」「急な天気の変化に関する内容は、大変役に立つ」等の意見が寄せられました。

皆様、ありがとうございました。



▲写真や画像で災害を振り返りました



### 大雨に備える3つのポイント

- ① 集中豪雨が発生するような状況下では、対応できる時間に余裕がないため、**平常時から大雨に備える**
- ② 『特別警報』が発表されるときは危機的な状況であるため、**段階的に発表される気象情報、注意報、警報などを活用して、早めの対応をとる**
- ③ 気象予測における時間・空間・量的な**誤差は避けられず**、予想時刻が先になるほど誤差は大きくなるため、常に最新の気象情報を利用する



▲52名が熱心に聴講しました

# お | 知 | ら | せ | 掲 | 示 | 板

**常設展**

**開催中**

「公文書にみる福岡140年のあゆみ  
～福岡県の誕生と市町村合併～」

**平成27年度  
第2回企画展**

平成28年2月9日(火)から3月19日(土)まで  
「昭和の<sup>すきさいでん</sup>主基斎田 ～福岡県の記録から～」

**講演会**

**開催予定(平成28年2月)**

**観覧無料**

福岡共同公文書館 公開講座のご案内

**参加無料**

## ふるさとの結婚 ～福岡県内市町村合併史～

市町村合併は、よく結婚に例えられます。  
「明治の廃藩置県」から「平成の大合併」まで、  
福岡県の変遷について考えます。



■ 講 師 / 九州歴史資料館 学芸調査室

わたべ くにあき  
**渡部 邦昭** 主任技師(学芸員)

■ と き / 平成27年11月29日(日)  
午後2時から3時30分まで  
(受付:午後1時30分から)

■ と ころ / 福岡共同公文書館 2階研修室

■ 定 員 / 80名(事前申し込み)

▶ 福岡県管内全図(九州歴史資料館所蔵)



◀ 大日本管轄分地図  
福岡県管内全図  
(九州歴史資料館所蔵)



**申  
込  
方  
法**

- 電話、FAX、電子メール、郵送、インターネット(ふくおか電子申請サービス)、または直接公文書館までお越しください。
- FAX、電子メール、郵送でお申し込みの場合は、下記の必要事項を記載の上、ご提出ください。

ふくおか  
電子申請  
サービス



**必  
要  
事  
項**

- ① 講座名「ふるさとの結婚」
- ② 参加者の名前(ふりがな)
- ③ 住所(都道府県、市町村まで)
- ④ 電話番号(あればFAX番号)

**問  
申  
込  
せ  
み  
先**

福岡共同公文書館 〒818-0041 福岡県筑紫野市上古賀1丁目3番1号  
電話番号:092-919-6166 FAX:092-919-6168  
電子メール:kobunsyokan@pref.fukuoka.lg.jp  
※休館日:月曜日、祝日(祝日が月曜日の場合は翌日も休館)

※ご提供いただいた個人情報は、本講座に関する連絡のみに使用いたします。

福岡共同公文書館公開講座「ふるさとの結婚」

※この用紙は申込みにご利用いただけます

ふりがな		電話番号	
お名前		FAX	
住所	都 道 府 県	市 町 村	(市町村名まで結構です)

# 公文書館を見学しませんか？

「公文書館という言葉は初めて聞いた」「存在を知らなかった」「建物があるのは知っていたけれど、どのようなところか分からない」などのご意見をいただくことがあります。

そこで、福岡共同公文書館では、少しでも公文書館を身近に感じていただきたく、施設見学を実施しています。

- どなたでも申し込むことができます(個人・団体を問いません)
- 普段は見るできないバックヤードも紹介します(文書保存庫や選別室等)
- 公文書館業務についての説明も実施しています(DVDやパワーポイント等による)
- 社会科見学、総合学習、コミュニティ活動などの一環として利用できます
- 行政機関などの視察先として利用できます
- もちろん無料です



▲ 文書保存庫(内閣府視察)



▲ 研修室(久留米大学視察)



▲ 会議室(運営専門協議会)

# 会議室・研修室を利用できます

福岡共同公文書館では、会議室・研修室を有料で貸し出しています。  
(施設の使用料金は裏表紙をご参照ください。)

- 会議室は、少人数の会議やサークル活動などにご利用いただけます
- 研修室は、音響・映像システムを備え90名まで収容できるため、講演会や講習などにご利用いただけます
- 目的によっては、ご利用いただけない場合があります

見学、会議室・研修室の利用ともに事前申し込みが必要です。  
ご希望の方は、お気軽にお問い合わせください。

# 活 動 報 告

## 平成27年

- 3月12日 : 平成26年度第3回運営専門協議会(県・組合合同開催)
- 3月13日 : 麻生レコードマネジメント(株)【施設見学 2名】
- 4月 3日 : 福岡県市町村職員研修所【施設見学 7名】
- 4月 7日 : 福岡県調査統計課【施設見学 1名】
- 4月 8日 : 福岡県市町村職員研修所【新規採用職員研修 78名】 ●
- 4月14日 : 福岡県副知事【施設見学 3名】 ●
- 4月15日 : 福岡県市町村職員研修所【新規採用職員研修 76名】 ●
- 4月22日 : 福岡県市町村職員研修所【新規採用職員研修 101名】 ●
- 5月13日 : 福岡県市町村職員研修所【新規採用職員研修 102名】 ●
- 5月15日 : 久留米大学文学部国際文化学科【施設見学 40名】 ●
- 5月20日 : 福岡県市町村職員研修所【新規採用職員研修 98名】 ●
- 5月21日 : 平成27年度運営会議
- 5月27日 : 福岡県市町村職員研修所【新規採用職員研修 96名】 ●
- 6月 5日 : 市町村文書事務担当者会議 42名 ●
- 6月11日 : 福岡県警本部警務課法制係【施設見学 2名】 ●
- 6月19日 : 常陸大宮市文書館【視察 2名】 ●
- 7月 1日 : 平成27年度第1回企画展の取材(FBS)
- 7月 7日 : 平成27年度第1回企画展の取材(西日本新聞)  
福岡県五ヶ山ダム建設事務所【施設見学 2名】
- 7月11日 : 飯塚市・八女市【施設見学 2名】 ●
- 7月14日 : 九州大学大学院ライブラリーサイエンス専攻【施設見学 1名】 ●
- 7月15日 : 丸亀市議会総務常任委員会【視察 10名】 ●  
平成27年度第1回企画展の取材(FBS)
- 7月16日 : 平成27年度第1回企画展の放送(FBS「めんたいプラス」)  
平成27年度第1回企画展の取材(西日本新聞)
- 7月17日 : 平成27年度第1回企画展の記事掲載(読売新聞)
- 7月21日 : 平成27年度第1回企画展の記事掲載(西日本新聞)
- 7月22日 : 平成27年度第1回企画展  
百道松風園～終戦と子どもたち～ 開催(～9/27)  
平成27年度第1回企画展の取材  
(RKB、NHK、ケーブルステーション福岡、毎日新聞)  
平成27年度第1回企画展の放送(RKB「ひるおび」、NHK「ニュース」)
- 7月23日 : 平成27年度第1回企画展の記事掲載(西日本新聞)  
平成27年度第1回企画展の放送(ケーブルステーション福岡)
- 7月24日 : 平成27年度第1回企画展の放送(ケーブルステーション福岡)
- 7月25日 : 講演会「終戦と子どもたち～聖福寮と松風園～」開催 74名  
(講師 下関短期大学 一般教育 准教授 高杉 志緒氏)
- 7月28日 : みやま市社会教育課市史編さん係【施設見学 2名】 ●
- 7月30日 : 朝倉市(総務部長・教育部長等)【施設見学 3名】 ●  
福岡県行政経営企画課【施設見学 2名】 ●
- 8月11日 : 平成27年度第1回企画展の取材(KBC)
- 8月21日 : 平成27年度第1回企画展の放送(RKB「今日感テレビ」) ●
- 8月27日 : 埼玉県議会総務県民生活委員会【視察 17名】 ●
- 8月28日 : 福岡県市町村支援課【施設見学 11名】 ●
- 8月29日 : 講演会「戦後70年目の証言～未来へのメッセージ～」開催 76名  
(講師 元「芙蓉部隊」・艦上爆撃機「彗星」操縦員 坪井 晴隆氏)  
講演会の取材(FBS、ケーブルステーション福岡)  
講演会の放送(FBS「news every. サタデー」、ケーブルステーション福岡)
- 8月30日 : 講演会の放送(FBS「めんたいプラス」、ケーブルステーション福岡)
- 8月31日 : 筑波大学他【視察 3名】 ●



▲市町村新規採用職員研修

自治体職員としての心がまえや職務に必要な基礎知識・技能を修得することをねらいとした新規採用職員研修の一環として、計551名が公文書館を訪れました。



▲市町村文書事務担当者会議

文書移管の手続きや作業の流れ等の説明とあわせて施設見学を実施し、公文書館業務への理解を深めていただきました。



▲丸亀市議会総務常任委員会



▲埼玉県議会総務県民生活委員会

## 選別会議実施状況

選別会議・・・自治体から1次選別を経て搬入された公文書について、評価選別基準により2次選別を行います。2次選別の結果、当館へ移管しないこととなった公文書については、原則として、搬入元の自治体に返却します。

平成27年4月から平成27年8月までの分▶

平成 27年度	みやこ町	糸島市	福津市	大川市
	宮若市	みやま市	添田町	岡垣町
	新宮町	遠賀町	篠栗町	桂川町

# 施設案内

## 施設使用料金

施設の使用ができます

	収容人員	面積	金額(1時間につき)
会議室	16名	58㎡	390円
研修室	90名	171㎡	1,150円

※消費税率の変更に伴い、平成26年4月から使用料金を改定しています。

※マイクやプロジェクター等を使用する場合は、別途料金がかかります。使用をご希望の方は当館までお問い合わせください。

## 複写サービス

複写もできます

白黒	1枚 10円
カラー	1枚 30円
マイクロフィルムからの印刷	1枚 10円

※ただし、特定歴史公文書については、福岡県立公文書館条例または福岡県市町村公文書館条例により、個人情報などが記載された箇所は複写できないことがあります。

## 利用上の注意

閲覧室に入室の際は、貴重品以外の物はロッカーにお入れください。  
(使用後は100円返金されます)

## このような時は ご相談ください

- お住まいの地域で行政が関わった歴史を知りたい
- 調べたい内容の資料が当館へ移管されたか知りたい
- 展示物や閲覧室にある資料を撮影したい

その他についても、お気軽にお問い合わせください



会議室



研修室



閲覧室



展示室

## 交通アクセス

- JR二日市駅より徒歩約13分または西鉄バス警察署前より徒歩約1分
- 西鉄二日市駅より下車、西鉄バス警察署前バス停より徒歩約1分
- 九州自動車道「筑紫野インター」より車で約5分

# 福岡共同公文書館

〒818-0041 福岡県筑紫野市上古賀1丁目3番1号

お問い合わせ:092-919-6166

Mail:kobunsyokan@pref.fukuoka.lg.jp

ホームページ:http://kobunsyokan.pref.fukuoka.lg.jp/



福岡共同公文書館には宝くじの収益金が活用されています。